



# 図書館利用案内

図書館では、本を無償で貸出ししています。従来の図書館（紙の本）と電子図書館の両方があります。

**対象：**南風原町内に在住、在勤、在学の方  
**必要書類：**住所、本人確認のできるもの（免許証・住民票・保険証・学生証等）  
※在勤の方は、保険証に会社名表記のあるものや社員証などの在勤を証明できるものが必要です。

紙の本の貸出冊数：5点、貸出期間：2週間  
電子図書館貸出冊数：3点、貸出期間：2週間  
電子図書館は年中無休、24時間ご利用いただけます。



## ピックアップ図書

### 『ウィッシュ』

編：講談社、構成・文：小宮山みのり

ロサス王国は、どんな願いも叶うと言われている、しあわせの国。  
ロサスで暮らすアーシャは、ある日、王様の秘密を知ってしまいます。  
みんなのために、アーシャが星に願いをかけると、空から星がやってきて……



# 図書館だより

【問】南風原町立図書館 ☎889-6400

開館時間／10:00～19:00(土日17:00まで)  
休館日／毎週火曜日、第4木曜日、祝日

## 4月受入予定図書

都合により受入れが遅れる場合があります(詳しくは図書館まで)

- ・60分でわかる！電帳法&経理DX超入門／土屋裕昭
- ・痛みが消えてずっと歩ける100年ひざ／巽一郎
- ・下水道のサバイバル1／ポドアルチング
- ・ドラえもん探求ワールド 漢字のひみつ？／藤子・F・不二雄
- ・諦めない心、ゆだねる勇氣／三浦雄一郎
- ・育休夫婦の幸せシフト制育児／芳田みかん
- ・となりのナースエイド／知念実希人
- ・ちいるるぶ 石垣・宮古・竹富島・西表島'25/JTBパブリッシング

いつでも、どこでも  
読める電子図書館



電子図書館  
ホームページ



電子図書館  
申し込みについて



私達が毎日使っている水。今年にはダムの貯水率が心配されていますが、水道からいつでもきれいな水が出ます。さて、この「当たり前」はいつから始まったのでしょうか。

南風原に水道が普及したのは今からちょうど60年前、1964(昭和39)年のことです。それまでは雨水や井戸、クムイ(池)の水が利用されてきました。津嘉山では水道供給開始に先立ち、一般家庭向けに水道配管希望者を募りました。希望者殺到かと思いきや、意外にも手を上げる人はほとんどいなかったそうです。それまで無料だった水にわざわざお金を払うなんて、というのが理由です。60年後、水道どころかペットボトルの飲料水を買うのが当たり前になるとは、当時は想像できなかったでしょうね。

水道の普及にとほない、暮らしの場だった井戸やクムイは「危険な場所」として埋め戻されたり、コンクリートで固められたりと徐々に形を変えていきました。一方で、今でも地域の年中行事で拝まれる井戸や古い伝説が残る井戸など、大切にされている場所が町内各所にあります。

水は、暮らしだけではなく産業にも大きく関わりました。純農村だった南風原では、農業をするために水が欠かせませ



宮平区内をデモ行進する住民たち

(前城)

## 南風原と「水」

## 文化の泉 宝物

南風原文化センター  
☎889-7399

(No.51)

現在も毎年夏に各字で行われる綱曳きは、雨乞いと豊作を願って行われます。また、南風原の特産品である琉球緋も染色の工程で大量の水が必要です。新川で盛んだった豆腐づくりでも水の確保に苦労したようです。

水は恵みでもありますが、ときには人々の暮らしを脅かします。かつて宮平川は大雨の度に氾濫し、家屋の浸水、農作物への被害を及ぼしました。通学路も冠水するため、学校が休校になることもありました。そこで、今から50年前の1974(昭和49)年、宮平、兼城の住民は水害防止村民総決起大会とデモ行進を行い、水害対策の早期実現を県や政府に強く要求しました。デモには、大雨の度に学校へ通えなくなる子どもたちも参加しました。このように、戦後水との付き合い方は大きく変化してきました。最近では断水することも少なくなりましたが、先人達の苦労に感謝しつつ、大切に使うべきです。

# 学校応援隊はえばる

ボランティアにご協力いただけるかたは、ぜひお電話ください。【問】南風原中央公民館 ☎889-0568

翔南小学校3学年 令和6年1月18日

## 「車いす介助体験」



車いすの扱い方を説明する医療法人社団輔仁会 砂川厚さん

町社協職員、医療法人社団輔仁会、社会福祉法人千尋会の職員のみなさんに協力してもらい、車いす介助体験を行いました。車いす開閉の方法、介助のポイントを聞き、体験した児童は「車いすは段差や方向転換が思っていたより難しかった。手伝ってもらったことでできた。困った人がいたら、授業で学んだことを思い出して助けてあげたい」と感想がありました。

北丘小学校4学年 令和5年11月22日  
津嘉山小学校4学年 令和6年2月21日

## 「認知症サポーター養成講座」



介護の相談窓口すずかぜ 金城淳一さん 金城昌美さん

4年生の福祉学習で講師をお招きし、認知症についてのお話を聞きました。脳の働きや、自分達ができるサポートについて学びました。「認知症の症状や対応のしかた①驚かせない②急がせない③心を傷つけないなどがあることも分かりました」と児童から感想がありました。

南風原小学校4,5学年 令和6年1月24,25日

## 「箏の鑑賞会」



(左から)新嘉喜周子さん 田本政子さん

4,5年生を対象に箏の鑑賞会を行いました。箏の演奏以外にも、箏の歴史や奏法なども丁寧に教えていただき充実した授業になりました。児童からは「いろいろな奏法があり、音色がとてもきれいでした」と感想がありました。

南星中学校2学年 令和6年2月26日

## 次世代ワークショップ 「難民～沖縄戦、人の移動から考える平和」



県事業担当者講師(株)うなゑ沖縄 玉城直美さん(右から2番目)

2学年が沖縄県女性力・平和推進課の沖縄平和啓発プロモーション事業「御万人ぴーすふるアクション」による平和学習を行い、世界で起こっている難民問題や、沖縄戦当時の読谷村のガマに隠れた戦争避難民のシミュレーションを通して、自分ならどうするかを考えました。最後に「平和とは何か?」と講師に問われた生徒たちから「平和とは義務教育、未来」等の声があがりました。

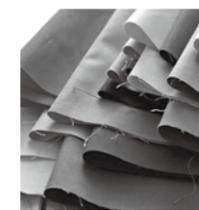
# はえばるエコセンターだより

【問】はえばるエコセンター ☎889-4425  
南風原町在住の方優先で、エコを身近に感じられる体験を毎月開催しています。申込みはエコセンターへ来店、または電話にて予約ください。※各講座の詳しい持ち物・注意事項は予約の際にお伝えします。

参加受付中

## 生地の譲渡・交換会

家で眠っている生地を誰かに使って欲しい、という声を受け生地の譲渡・交換会をすることにしました。出品は34×46×高さ40cmまでの箱に入る量まで。未使用の布に限ります。



▶日時：4月15日(月)10:00～18日(木)16:00  
▶場所：はえばるエコセンター  
▶料金：無料 ▶定員：15人  
▶対象：出品は南風原町民限定  
▶申込み：電話か来店

## 貝のお話と貝殻標本作り

貝について学んだあと貝殻標本作ります。



▶日時：4月4日(木) 10:00～12:00  
▶場所：はえばるエコセンター  
▶料金：300円  
▶定員：6人  
▶申込み：電話か来店  
▶対象：南風原町民優先、小学生以上(先生のお話を聞ける人)

## ミシンDay!

エコセンターのミシン2台を開放します。お直しやリメイク、ハンドメイドを楽しみませんか?黒と白以外の糸が必要な方は持参してください。※縫い物を教える会ではありません。



▶日時：4月23日(火) 10:00～16:00  
※1時間単位の予約枠を設けます。  
▶場所：はえばるエコセンター  
▶料金：無料 ▶申込み：電話か来店  
▶対象：南風原町民優先。ミシンの基本的な操作ができる方のみ。

## リユース制服寄付&譲渡



着なくなった制服を後輩のために寄付しませんか?寄付は洗濯とアイロンがけをしてできるだけシワのない状態でお持込み下さい。譲渡希望の方は欲しいサイズを明確にした上でご来店下さい。